

コープ杯争奪AOFA第4回 青森県U-11サッカー大会 (チビリンピック青森県予選) 東西ラウンド競技規定

1 大会形式 東地区ラウンド

19チームを5グループに分け、予選ラウンド（4チームのリーグ戦×4、3チームのリーグ戦×1）を行い、各グループ1位チームと各グループ2位のうち上位成績（勝点→得失点差→総得点、並んだ場合はPKにて決定）の3チーム、計8チームは決勝トーナメントに進出する。

※2位チームの成績反映について、A～Dブロックは4位の成績を反映させずに3チームとしての成績にて各ブロックの2位順位とする

西地区ラウンド

16チームを4グループに分け、予選ラウンドを行い、各グループ上位2チーム、計8チームは決勝トーナメントに進出する。

予選ラウンドの順位は勝点の多い順とし、勝点と同じ場合は、得失点差→総得点→対戦相手との結果→PK方式で順位を決定する。

勝点は、勝ち：3点、引き分け：1点、負け：0点とする。

東西地区ラウンド共通

決勝トーナメントは8チームのトーナメント戦とする。

2 競技規則 大会実施年度の「日本協会」「8人制サッカー競技規則」に準ずる。

※全試合一人審判制とし、補助審判員を指名する。

3 競技会規 (1) 試合時間は12分×3ピリオドとし、ピリオド間のインターバルは5分とする

※第1ピリオドと第2ピリオド間は、3分以内でも可とする。

第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分を経過したところでサイドを替える。

決勝トーナメントで同点の場合は、6分間（前・後半3分）の延長戦を実施する。

尚、決しない場合はPK戦で決定する。

延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

交替ゾーン

ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交替ゾーンを設ける

(ハーフウェーラインを挟んで3mずつ)

(2)ピッチ

縦60～68m 横45m～50m センターサークルの半径：7m

ペナルティエリア＝ゴールライン上、ゴールポストの内側から12m、その地点からゴールライン上に直角に12m

ゴールエリア＝ゴールライン上、ゴールポスト内側に4m、その地点からゴールライン上に直角4m

ペナルティマーク＝8m

ゴール＝ゴールの内のり縦2.15m、横5m

(3)テクニカルエリア 設置しない

(4)選手の用具

「日本協会」のユニフォーム規程に準ずるが、**運用緩和を一部適用**する。

- ① 当該チーム同士で着用するユニフォームを決定する、決まらない場合、60分前までに本部で主審が決定する。
- ② ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ③ GKはビブス着用でも可とする。シューズ・ソックスの色はFPと同色でも構わない。
- ③ アンダーシャツ・アンダーシューズ・タイツ等を着用する場合、色はチームで統一されていれば可とする。

4 懲 罰

- ① 一般社団法人青森県サッカー協会（以下、「本協会」という。）規律・裁定委員会規則第7条に基づき、コープ杯争奪AOFA第4回 青森県U-11サッカー大会に大会規律委員会を設置し、本協会規律・裁定委員会は、日本協会の懲罰規程第3条（以下、「懲罰規程」という。）により委任された所管する懲罰権の一部を懲罰規程第25条に基づき当該大会規律委員会へ再委任する。
- ② 前項の再委任の範囲は、戒告、譴責及び1試合以下の出場停止処分の懲罰に限るものとする。
- ④ 本大会期間中、警告を3回受けた選手、ベンチ入りしたチーム役員（監督・コーチ等）は自動的に次の1試合に出場できない。
- ⑤ 本大会に於いて退場を命じられた選手、ベンチ入りしたチーム役員（監督・コーチ等）は自動的に次の1試合に出場できず、以降の処置については本協会規律・裁定委員会にて決定する。

5 開 会 式 開会式は実施しない。

6 閉 会 式 閉会式は実施しない。

7 表 彰 表彰は行わない。

8 そ の 他 緊急事態が生じた場合は、本部へ連絡し了解を得ること。
会場および会場付近でのチーム関係者(応援の保護者等)の動向は、各チームで徹底すること。